

## 茨城県の魅力を向上させる公園整備について 渡邊 一夫氏 × 藤田 幹雄氏

元県土木部長

元土木部技監兼検査指導課長  
(当時・県土木部公園街路課長)



いばらきの公共事業を紐解く

### 鹿島灘 観光地へ一層飛躍

鹿島灘 観光地へ一層飛躍  
海浜公園 観光地へ一層飛躍

藤田 幹雄(ふじた けんゆう) 66歳。入社時期は1957年12月28日生まれ。80年、道路維持課に配属。その後、企画部、線路整備課、公園街路課などを経て、2018年3月に技監兼検査指導課長で定年を迎えた。現在は土木工機に勤めている。

私は平成27年度から28年度までの2年間、公園街路課長を務めました。公園街路課への配属は、この時4度目。それまでの経験を活かしながら、公園整備に力を尽くしていました。

茨城県は、積極的に公園整備を進めてきたと思います。私が県職員に採用された昭和46年当時、天下の名園「偕楽園」、「弘道館」は、体に向けて等松運動公園(ひたち海浜公園、偕楽園、市町村管理公園に区分する)とができました。それぞれ設置目的、規模、施設内容、利用者層は様々です。

公園整備に携わりました。特に力を入れた公園があります。まず、大子公園。平成4年度、私は当時の大子土木事務所長に赴任し、造成工事を担当した大子公園。当初は多目的運動広場と連携のもと、オーストラリアの整備に努め、平成10年7月にオープンを迎えました。オートキャンプ場には、構想当初から携わっていたため、日本オートキャンプ協会主催の研修に参加したり、親子4人で北海道星に認定され、予約困難なキャンプ場として名を馳せています。

具体的には、水辺空間の無立地において温泉の活用がキャンプ場の売りになるのでは、と主張した記憶があります。実際には、想像以上の立派な温泉施設が完成し、多くのお客様から好評を博しているようです。

また、茨城の名園である偕楽園についてもですが、この公園は昭和30年代の本園と、常緑園側の温田を造った拡張部に区分けされた。拡張部には、平成8年度に偕楽園公園として完成し、本園では平成26年度に見晴亭がオープンしました。電線の地中埋設でさえ簡単ではないことを知る立場として、当時担当された方の苦労が偲ばれます。

明けておめでとうございます。皆様にとりまして良い年でありましてお祈り申し上げます。年々の初めに、公園整備のお話をしたいと思っております。まことにありがとうございます。公園は、広域公園、総合公園、地区公園、運動公園など、さまざまな目的によってさまざまな種類に分けられます。公園が整備されることにより、地域はもっと元々、茨城県の魅力が大幅に向上するのです。

「鹿島灘海浜公園」が暫定開園となったのは、平成12年です。鹿島灘スポーツリゾート基地として整備が進められております。ボー

「鹿島灘海浜公園」が暫定開園となったのは、平成12年です。鹿島灘スポーツリゾート基地として整備が進められております。ボー

茨城県では、一生懸命に公園整備を進めてきたと思います。茨城県の魅力が、いかに向上しているか、皆さんの暮らしが、いかに豊かになっているか、公園ができたのだと思います。深く感謝いたします。

その後、昭和55年に鹿島灘を一望できる52mの展望塔がある「海公園」が、翌年には研究学園都市にふさわしい「洞峰公園」が続いて開園されました。この頃、砂沼の地形や自然を生かした「砂沼広域公園」も開園となりました。当時、私は土木

のふれあいを楽しむことができます。サッカー、ラグビー、野球ができる多目的運動公園も併設されており、隣接する筑西幹線道路の整備に伴い、より利用しやすい公園となるでしょう。

また、同年には「等閑芸術の森公園」も開園となりました。伝統工芸と新しい造形美術をテーマとした公園です。陶芸美術館のほか、陶芸祭が行われるイベント広場や陶の杜などがあります。私が水戸土木事務所長

昭和46年当時「偕楽園」は本園のみの供用であり、拡張部の用地買収を行って切り直しをしながら苦労して整備したのが思い出されます。沢渡川からの水対策なども実施しました。天下の偕楽園を、より素晴らしい公園にしようと頑張った2年間でした。



昭和46年当時「偕楽園」は本園のみの供用であり、拡張部の用地買収を行って切り直しをしながら苦労して整備したのが思い出されます。沢渡川からの水対策なども実施しました。天下の偕楽園を、より素晴らしい公園にしようと頑張った2年間でした。

常総市は、2024年度入札参加資格審査申請の追加受付を実施する。受付期間は2月1日から20日まで(消印有効)。受付方法は、県内・県外業者は郵便のみ、市内業者は限り持参による受付も可能。有効期間は24年4月1日から25年3月31日まで。

2月追加受付工事等参加申請(常総市) 常総市は、2024年度入札参加資格審査申請の追加受付を実施する。受付期間は2月1日から20日まで(消印有効)。受付方法は、県内・県外業者は郵便のみ、市内業者は限り持参による受付も可能。有効期間は24年4月1日から25年3月31日まで。

## 茨城の公共・公益事業 歴史をたどり、後世に残す 県土木部総括技監・部長編①



の設計、施工一括発注方式により事業者を選定して整備した。その後の平成6年に、奥久慈地区の豊かな自然環境を活かすよう、県北地区のスポーツレクリエーションの拠点として「大子公園」が開園されました。あたり一面温田だったところを覚えておられます。この温田が立派に整備され、今ではセントラルパークに次ぐ広さを誇る公園に変わっております。どうしたら世界一にな

ドウォーク、ピクニック広場、展望デッキがあり、休憩できるの野菜やハマグリの販売なども行われております。私は土木部長の時に、梅の古木の手入れは、3年間程度は同じで行ったほうが良いのではないかという意見があり、試行的にそのような発注を行ったりもした。

電子版購読のお申し込みは  
029-291-8855

## 造園緑化事業を推進し みどり豊かな潤いのある環境を創出します

<p><b>第一造園土木株式会社</b> 代表取締役 廣瀬 太 〒300-0835 茨城県土浦市大柏五三三 TEL:029-291-8111 FAX:029-291-8111</p>	<p><b>常磐造園株式会社</b> 代表取締役 庄司 憲生 〒310-0841 茨城県水戸市浦門三二八 TEL:029-291-4811 FAX:029-291-4811</p>	<p><b>鹿島庭園株式会社</b> 代表取締役 小松崎 茂 〒314-0031 茨城県鹿嶋市宮中一九九 TEL:029-291-1111 FAX:029-291-1111</p>	<p><b>興和緑地建設株式会社</b> 代表取締役 平根 成浩 〒310-0804 茨城県土浦市白梅一三三 TEL:029-291-1111 FAX:029-291-1111</p>	<p><b>緑地企画株式会社</b> 代表取締役 永井 剛人 〒310-0004 茨城県水戸市青柳三三三 TEL:029-291-1111 FAX:029-291-1111</p>	<p><b>株式会社 タナカ築庭</b> 代表取締役 田中 資康 〒310-0905 茨城県水戸市市川一四七 TEL:029-291-1111 FAX:029-291-1111</p>	<p><b>株式会社 植正園</b> 代表取締役 猪瀬 清次 〒310-0033 茨城県水戸市常盤町一四〇 TEL:029-291-1111 FAX:029-291-1111</p>	<p><b>常緑工業株式会社</b> 代表取締役会長 長岡 徳樹 代表取締役社長 岡 健蔵 〒300-2505 茨城県常総市中妻町五一九 TEL:0297-22-7106 FAX:0297-22-7417</p>
---	--	--	--	--	--	---	--